

実践事例

(進路) 南中学校 2年

職場体験学習

4月～11月(24時間)

1 ねらい

中学校におけるキャリア教育の一環として、社会的、職業的な自立の基礎となる力を身につけさせることを目標に職場体験学習を行っている。職場体験を行う具体的なねらいを以下に示す。(1)社会人としての基本的なマナーの習得。(2)コミュニケーション能力の育成。(3)地域社会での豊かな人間関係の構築。(4)責任感、使命感、達成感など、仕事を通して得られる感情や感覚の体験。(5)自分の職場の実務内容の経験。

2 実践の概要

(1)働くということに対する興味喚起

働くということに具体的なイメージを持たず、職場体験に向けての積極性が持てていない生徒たちの動機づけとして、職業に関するDVDの視聴、感想のまとめを学年全体で行った。なるべく生徒が実際に体験にでかけるであろう職業を選択し、視聴させることで、職場体験への期待とやる気呼び起こした。

教師の支援・手だて：DVDの選択に当たって、はじめに子どもたちの人気が高い職種を選び、視聴させ、その後実際に出かけるであろう職種のDVDを視聴させた。まずは「見たい」と思わせることが大事だと考えたからである。

(2)様々な職種、職業を知る

職業といっても、実際この社会にはどれだけの職業が存在するのだろうか。メジャーな職業以外にも、様々な職種、職業があることを学ばせるため、いくつかの製品、例えばボールやシャーペンなどをピックアップし、その製品が自分の手元に届くまでに、どのような人が関わり、どのような仕事があるのかを調べさせ、発表させた。たった一つの製品ができるまでに、予想していたよりもはるかに多くの人の手が加わっていることに驚いていた。

教師の支援・手だて：はじめに教師が具体的な実例を挙げ、生徒に驚きを与えた。例えば「タイヤ」ができるまでには、材料のゴムまでさかのぼると、外国のまったく知らない土地の人たちが想像もできなかった仕事をしている。生徒に職業の多様さ、奥深さを学ばせた。

(3)身近な職業調べ

数ある職業の中から、自分の身近な職業に関して調べ学習を行った。父親、母親、近所のお兄さんや知り合いのお姉さんなど、親しい間柄の大人に対してインタビューをした。その仕事を選んだ理由や仕事のやりがい、苦労話、一般には知られていない職業の裏事情まで、内容は多岐に及んだ。インターネットや書籍などではわからない職業の実際を知ることができ、様々な職業の良い面も悪い面も感じることもできた。

教師の支援・手だて：職業調べは親に限定せず、身近な人なら誰でもよいことにし、家庭の事情にも考慮した。どうしても困った生徒には、教師の仕事を紹介した。

(4)社会人としての礼儀やマナーの指導

言葉使いや作法など、社会人として必要な礼儀やマナーを事前の指導で行った。特に事前訪問のアポ取では、生徒に実際に電話をかけさせ、自分たちで必要な内容を聞き取り、メモを取るようにさせた。

教師の支援・手だて：電話のかけ方マニュアルを作成し、生徒同士で何度も練習を行った。担当の方が不在の場合や都合の悪い場合など、あらゆる場面や状況を想定させ、練習させることで、本番にスムーズな対応ができるようにした。

(5)職場体験本番

様々な職業に関して、様々な角度から学んできた内容を踏まえ、職場体験に出かけた。3日間の体験は楽しくもあり、辛くもあり、働くことの実感を体験できた。職場の方々と触れ合う中で、人生経験や将来へのアドバイスなどもたくさん聞くことができ、働くとはどういうことか、社会人になるとはどういうことなのか、身をもってその一端を感じることができた。充実した3日間となった。



教師の支援・手だて：実際に職場を訪問し、生徒への声掛けを行うと共に、職場でお世話になっている方々に挨拶をして回った。写真を撮りながら生徒の健康状態や精神状態を観察し、問題なく体験が行われていることを確認した。

(6)まとめ

3日間の体験を、毎日書きためた記録をもとにしてレポートシートにまとめた。事前学習のレポートと合わせて、各学級で背面に掲示し、職場体験学習のすべてを振り返った。

教師の支援・手だて：記憶の薄れないうちにということで、職場体験直後の総合の時間を使い、レポート作成に取り組んだ。毎日記録をつけさせたことで、レポートのまとめはスムーズに行えた。

(7)発表

今年度は新しい試みとして、11月の文化祭時にほぼすべての職場の体験レポートを発表した。全校の前で発表することで2年生の経験を学校全体で共有することができた。



さらに全校の前での発表ということで、レポートのまとめにも緊張感が加わり、より良いものができあがった。

教師の支援・手だて：レポートの発表時、他学年生徒は聞いているだけではわかりにくいので、ビジュアル的要素を加えるため、教師は体験時の写真や図を使った資料をパワーポイントで作成し、プロジェクターにて投影した。

3 実践を振り返って

職場体験自体はとても素晴らしい体験となり、生徒の成長にも大きく貢献したものと思われる。この体験をどう生かしていくか、また、どう3年生の進路指導へとつなげていくかが今後の課題であると思う。